

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成24(2012)年1月15日発行(第154号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

高松市新病院

高松市民病院と香川診療所を統合し、仏生山町に移転する高松市新病院は、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、平成26年度中の開院を目指しています。

平成23年
12月定例会

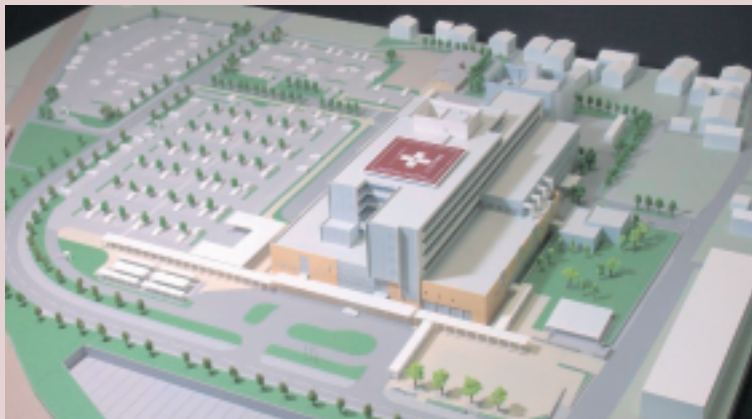
冬号

目次

代表質問ほか	……	2~4
一般質問ほか	……	5~7
情報BOX	……	8

定例会の日程

12月 5日	開会・決算審査特別委員長報告・採決・提案説明・閉会中継続調査報告
8日・9日	代表質問
12~14日	一般質問
15日	常任委員会審査
19日	委員長報告・討論・採決・閉会



高松市新病院の模型及び完成予想図

今定例会で決まった主な内容

- 補正予算
 - ▽ 老朽化している塩江町バス車庫を解体・撤去するための予算
 - ▽ 市立小学校で、全児童を対象に防災用折りたたみヘルメットを整備するための予算
 - ▽ 太陽光発電システム設置費補助金の申請件数が予定を上回る見込みとなったことにより、増額するための予算
 - ▽ 台風12号・15号により崩壊した道路や流失した橋梁等を復旧するための予算
- 条例
 - ▽ 高松市環境プラザの廃止に伴い、条例を廃止
- その他
 - ▽ 鬼ヶ島おにの館の指定管理者として特定非営利活動法人瀬戸内・女木アイランド振興会を指定したほか、5件の指定管理者を指定
- 【議員提出議案】
- 意見書
 - ▽ ワクチン接種緊急促進事業の継続を求める意見書
- 条例
 - ▽ 常任委員会の所管事項のうち、産業経済部を創造都市推進局に改めるなどのための条例改正

平成23年第6回高松市議会定例会は、12月5日から19日までの15日間の日程で開かれました。今定例会では、平成22年度一般会計・特別会計歳入歳出決算など4件を認定し、平成23年度一般会計補正予算など29議案と意見書1件を可決したほか、1議案を修正可決しました。また、陳情6件のうち、5件を不採択、1件を継続審査としたほか、人事案件2件に同意しました。

代表質問

各会派を代表して、荻洲将鷹（同志会）・三野ハル子（柿ヶ紙）・中村伸一（公明党）の3人の議員が質問しました。

質問の主な内容

荻洲将鷹議員（同志会）

政治姿勢・行財政・防災・まちづくり・観光振興・国際交流・福祉・医療・教育

三野ハル子議員（柿ヶ紙）

TPP交渉への参加・市職員の労働条件改善・競輪・障害者福祉・学校教育・危機管理体制など

中村伸一議員（公明党）

市政の見える化・教育・建設事業と民意の集約・交流人口の拡大・防災・減災・環境・社会保障制度など

政治姿勢

我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画

持続可能な農業を確立

平成23年10月に決定された、我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画では、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加も視野に、規模拡大による生産性向上を柱とした農林漁業再生策を掲げている。

小規模農家が多い本市では、現在の10倍以上の耕作面積実現は不可能に近いが、同基本方針・行動計画に対する所見は。【同志会】



国には、実効性ある対策を早期に示すとともに、農業関連施策の一層の充実と、持続可能な力強い農業の確立を望む。また、本市農業において

は、今後、国が示す具体的方策も活用し、農地集積や農業の6次産業化の促進などに努め、基盤強化を図る。

平和行政を積極的に推進

太平洋戦争突入から70年が経過したが、過去の過ちを繰り返さないよう、特に政治に携わる人などは、過去から教訓を見つけ出し、活動の指針とすべきだが、平和への思いは。【柿ヶ紙】

憲法の平和主義の理念を踏まえ、昭和59年の非核平和都市宣言や平成21年の平和市長会議への加入など、積極的に平和行政を推進している。

今後、恒久平和への切なる願いと、過ちを二度と繰り返してはならないとの決意のもと、市民とともに平和行政を積極的に推進する。

真の「コミュニティ」を軸としたまちづくりを推進

来年度予算編成を軸とした協働のまちづくりなどを最重点課題としているが、コミュニティの再

生について、今後、重視する取り組みは。【公明党】

これまでのコミュニティセンターの計画的整備や、ゆめづくり推進事業などに加え、コミュニティ協議会の事務局体制強化に対する支援を検討している。

今後とも、同協議会の活動を中心に、ソフト・ハードの両面で関連施策を積極的に展開し、新しい公共の活性化などにもつながる「コミュニティの再生」を果たし、真の「コミュニティ」を推進する。

防災

危機管理センター（仮称）の整備を検討

迅速な災害対策本部設置のため、同本部の常設化を行う考えと、同本部機能の充実のため、消防局及び上下水道局との連携に、どう取り組むのか。【同志会】

策本部を整備するとともに、上下水道局庁舎を併設する考えは。【柿ヶ紙】

大災害に見舞われた際、迅速に本部体制を確立し、一刻も早い市民への災害情報の伝達と避難体制の確立が実施できるよう、市庁舎西側の公用車駐車場及び駐輪場への常設の災害対策機能を持つ危機管理センター（仮称）の整備及び、同センターと緊密な連携が必要な消防局機能の統合も検討する。

また、同センターに上下水道局庁舎を併設することで、同本部との緊密な連携が期待できることから、一体的な整備が望ましいと判断している。



災害対策本部

自主防災組織の結成を促進

質問

自主防災組織の結成促進を図るには、コミュニケーション協議会等に協力を依頼し、各地区・校区内で取り組むことが重要だが、結成促進策は。

【同志会】

本市の同組織の活動力バ―率は、平成22年度末で68%と、まだまだ低い状況だが、同組織の結成に向けた取り組みは。

【市議会】

答弁

関係各課が相互に連携を深め、同協議会等において、自主防災組織の結成を促すとともに、未結成の自治会等に直接職員が出向き、自助・共助の必要性について理解を得るなど、さらなる住民の意識啓発に努める。

あわせて、より広い地域を包括する同組織の体制づくり等の検討を進めることなどを通じ、活動カバー率100%を達成できるように、地域防災の強化に積極的に取り組む。

HUG

地域防災リーダー育成セミナーの実技講習として取り入れる

質問

避難所運営研修の教材であるHUG（避難所運営ゲーム）は、避難者の事情等が書かれたカードを用い、避難所での対応などを模擬体験するゲームで、避難所運営を本格的に考えるきっかけとして活用されているが、本市でも活用する考えは。

【公明党】

答弁

同ゲームには、避難所での、さまざまな事案が盛り込まれているなど、各地域での避難所運営マニュアルの整備に有効なので、今後、毎年開催している地域防災リーダー育成セミナーにおいて、実技講習として取り入れる。



財政

将来にわたり持続可能な健全財政の確立に取り組む

質問

将来にわたり持続可能な健全財政の確保には、事務事業を見直し、厳しい選択と集中に努めなければならないが、新年度の予算編成における

財政の健全化に向けた取り組みは。

【同志会】



健全財政の確立

答弁

新年度の予算編成では、市債残高の累積に留意しながら、歳入の積極的な確保や、事務事業全般にわたる徹底した見直しなどにより捻出された貴重な財源を重点的・効率的に配分するとともに、例年以上に国の予算編成などを注視し、的確に対応するほか、本市の予算編成方針等の取り組みを着実に実行することで、将来にわたり持続可能な健全財政の確立に取り組む。

財政硬直化への懸念の解消

建設事業の精査や、国・県の補助制度を活用

質問

市債残高の増加で、後年度の償還費負担による財政硬直化が

懸念され、安心して暮らせるまちづくりのために弾力的に使える財源が十分に確保できるか心配だが、懸念に対する解消策は。

【公明党】

答弁

財政が硬直化し、必要な財源が確保できない事態を避けるため、建設事業は、まず、事業自体の要否を厳しく精査し、その上で、実施する事業もコスト削減に努める一方、国・県の補助制度を活用するなどの措置を講じる。なお、これらの取り組みの成果は、財政状況を、毎年度、わかりやすく市民に公表することにより説明責任を果たす。



中心市街地活性化

現計画を1年延長し、実効性のある事業を掲載した次期計画を策定

質問

平成24年3月までの中心市街地活性化基本計画では、目標の達成が容易でないなど、事業の進捗に支障が出ている。同計画の停滞は、都市機能の拡散に

つながりかねないので、次期計画の策定を検討する必要があるが、今後、どう取り組むのか。

【同志会】

答弁

現計画の成果を評価するには、24年春オープン予定の丸亀町商店街G街区の効果を見きわめる必要があるため、現在、計画期間の1年間延長を国と協議している。

コンパクトで持続可能なまちづくりには、中心市街地の活性化が重要なので、引き続き、国の補助制度等を最大限活用し、再開発事業への支援など、実効性のある事業を掲載した次期計画を策定し、公共交通の利用促進施策と合わせ、計画の推進に取り組む。



丸亀町商店街のアーケード

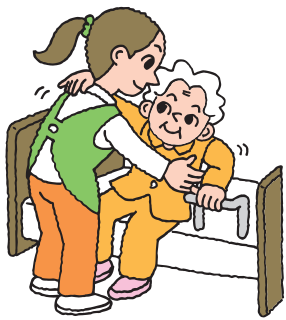
福祉

介護保険料改定

負担能力に応じた、よりきめ細やかな保険料負担を検討

質問 平成24年度からの第一号被保険者の介護保険料改定では、被保険者の負担抑制と、市民の広い理解を得るための細やかな配慮が必要だが、改定に当たっての基本的な考え方は。

【同志会】



答弁 国の制度改正や介護報酬改定などをもとに、次期計画期間の介護サービス費用見込み額を的確に推計し、県の介護保険財政安定化基金の活用も含め、適正な保険料基準額を決定する。

また、低所得者等に配慮

し、負担能力に応じた負担を求める観点から、市町村民税の課税状況等に応じた、よりきめ細やかな保険料負担段階を検討する。

放課後児童クラブ

計画的な施設整備などにより待機児童の解消に努める

質問 放課後児童クラブのニーズは高まる傾向にあり、待機児童が生じている校区が出てきているが、何らかの対応が必要ではないか。

【市・区民】

答弁 放課後における子供たちの安全・安心な居場所を確保し、健全な育成を図ることは大変重要なので、今後とも、児童数の推移や保護者ニーズも踏まえながら、計画的な施設整備などにより待機児童の解消に努める。

教育

防災教育充実のため、学校外の災害にも対応できるように、地域ぐるみで取り組む

質問 災害時に生き延びる力を養う防災

教育は、児童生徒が危険を予測し、みずから危険回避能力を養うことが重要だが、同教育を充実させる考えは。

【同志会】

答弁 本市の全小中学校では、学校行事等で避難訓練などの実践的な取り組みを実施している。

今後、自宅や外出先など、学校外で発生した災害にも適切に対応できるよう、専門的な指導や助言を踏まえ、保護者や地域と緊密な連携を図りながら、防災マップの作成や、さまざまな事態を想定した避難訓練の実施など、地域ぐるみの防災教育にも積極的に取り組む。

日ごろの教育活動全体を通じて、いじめや暴力行為等の未然防止に努める

質問 いじめや暴力行為を早期に把握し、解決に向けて取り組む考えは。

【市・区民】

答弁 各学校において、1等の有効活用などによる問題行動の早期発見や、家庭や関係機関との緊密な連携などにより、その解決に

努めている。

さらに、今年度からは、小学校にハートアドバイザー130名を、中学校にスクールソーシャルワーカー6名を配置し問題行動等の解決に努めており、今後とも、日ごろの教育活動全体を通じて、いじめや暴力行為等の未然防止に努める。

掃除教育

掃除の実践を通し公共心や思いやりの心をはぐくむ

質問 大人になってからも必要な豊かな心と生きる力の基礎をはぐくむ取り組みとして、幼稚園を皮切りに掃除教育を行っているが、同教育の意義と効果は。

【公明党】



栗山幼稚園の掃除教育

答弁 同教育は、掃除を単なる美化活動にと

どめず、子供たちの心を磨く活動として位置づけ、就学前から掃除の実践を通して、規範意識を醸成し、公共心や思いやりの心などをはぐくむことを目的に実施しており、今後とも、家庭や地域住民との連携を一層深め、同教育の充実に取り組む。

事務分掌条例の一部改正案を修正可決

今定例会に、平成24年度からの市の組織について、部課制から局課制に改めるとともに、産業経済部の所掌事務と市民政策部の国際文化・スポーツ関係事務とを再編し、新たに「創造都市推進局」の所管とし、産業経済部の土地改良に関する事務を都市整備局に移管する条例改正案が提出されましたが、都市整備局の所掌とされている「土地改良に関する事項」については、農業施策を一体的に推進することが望ましいと考え、その事項を、農業・農地などを所管する創造都市推進局の所掌とする委員会の修正案を、全会一致で可決しました。

一般質問

市政のさまざまな課題について、15人の議員が質問しました。

一般質問



市広報紙に市民病院コーナーを設ける考え

西岡章夫議員(同志会)

質問 市民に市民病院をよく知ってもらうため、市広報紙に市民病院のコーナーを設ける考えは。

答弁 市広報紙に市民病院を紹介する記事を掲載することは、病院の取り組みを市民へ周知する有効な手段なので、その効果的な活用を努める。
【他の質問▼横割り行政に配慮した役所づくりなど】

新規学卒者や新卒時に就職がかなわなかった人への就職支援対策を

大西 智議員(糸ヶ原)

質問 本市の将来を見据え、持続可能な社会を構築していくためには、雇用の創出に全力を挙げて取り組む必要があるが、新規学卒者や、新卒時に就職がかなわなかった人への就職支援対策は。



答弁 国等の関係機関の協力を得て、新規学卒者や学卒後おおむね3年以内の未就職者も対象とした就職応援・適職相談などを実施しているが、新規学卒者等の就職支援対策は重要なので、今後とも、国や県等と緊密な連携を図り、情報共有しながら取り組む。
【他の質問▼財政運営方針市立病院など】

遠隔地自治体との災害時相互応援協定の締結を

竹内俊彦議員(公明党)

質問 近隣の自治体間で締結している災害時相互応援協定では、東日本大震災のような被害が広範囲に及ぶ場合には機能しない可能性があるため、姉妹都市など遠隔地で交流のある自治体と同協定を締結する考えは。

答弁 遠隔地自治体との相互応援協定は、大規模災害時に有効なので、全国の中核市では、地域ブロックが異なる遠隔中核市間でチーム編成を行い、同協定を締結した。
今後とも、本市との関係が深い遠隔地の自治体との同協定について検討する。
【他の質問▼新地方公会計制度・観光など】

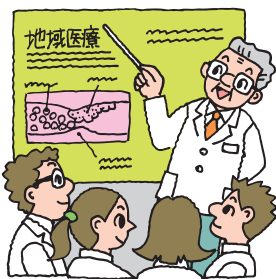


医師確保のため、医学部に寄附講座の開設を

香川洋二議員(無所属)

質問 医師確保には、病院での研修環境整備以外に、医学部へのサポートが欠かせないので、地域医療を守るため、医学部に市の寄附で開設する寄附講座を設ける考えは。

答弁 徳島大学医学部により、県立病院の医師確保に効果があったと聞いているので、本市でも、地域医療を守るための新たな医師確保対策として、香川大学医学部と協議し、寄附講座の開設を検討する。
【他の質問▼震災対策・对中国観光行政など】

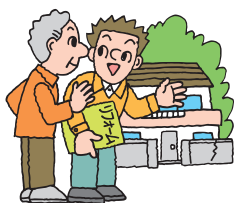


住宅リフォーム助成制度の創設を

岡田まなみ議員(無所属)

質問 住宅リフォーム助成制度は、住環境の改善を図るとともに、地域の建築関連業者の仕事を起こしにも効果があり、その経済波及効果は、大型公共事業より大きいので、同制度を創設する考えは。

答弁 同制度の創設は、対象者やリフォームの適用範囲などの検討課題もあり、現在のところは困難だが、今後、他都市の状況も参考に調査研究する。
【他の質問▼国民健康保険・介護・高齢者福祉など】



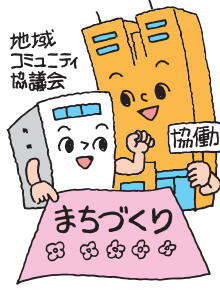
各セクションと地域コミュニティとの連携に対する市の基本的スタンス

二川浩三議員(無所属)

質問 市の組織全体がする共通認識を持つには、市の各セクションと地域コミュニティとの連携が必要と考えるが、市の基本的スタンスは。

答 弁 管理職員を中心に、地域コミュニティや協働に関する研修を実施するとともに、全部局の協働事例を形態別等にまとめ、計画的に取り組むこととしており、今後、各セクションが、地域コミュニティ協議会を地域のまちづくりの担い手として認識し、相互の連携が、なお一層図られるように努める。

【他の質問▼危機管理体制・地下水利用など】



市民病院の医師確保の積極的な取り組みを
井上孝志議員(同志会)

質問 魅力ある市民病院づくりには、医師確保が緊急の課題なので、職員一丸となって積極的に取り組む考えは。

答 弁 県内外の大学に対する派遣要請などの結果、市民病院では、平成24年4月より、内科医や形成外科医など、若干名の医師を確保できる見通しである。

今後とも、病院事業管理者が先頭に立ち、大学へ医師派遣を働きかけるとともに、職員一丸で、魅力ある病院づくりに鋭意取り組み。【他の質問▼新病院・災害対策など】



学校給食で地場産物のさらなる使用を
落合隆夫議員(同志会)

質問 地産地消を推進していくため、学校給食で地場産物の使用をさらに進めていくべきと考える。

全国では、地場産物の使用割合が25%程度で推移しているが、本市の現状は。



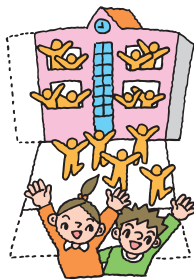
答 弁 生産者団体や栄養教諭等で構成する高松市地場産農産物活用推進検討会を設置し、県産食材を計画的・安定的に確保す

るなど、地産地消に取り組んでいる。これにより、食材ベースの割合は、平成22年度で33%と増加しており、今後も、地場産物の使用の拡大に努める。

【他の質問▼自然エネルギーの地産地消など】

林小学校の再度の運動場拡張と校舎増築を
吉峰幸夫議員(狛う組)

質問 林校区は人口急増地域であり、林小学校では2年前に運動場拡張と校舎増築を行ったが、子供が急増しているため、再度行う考えは。



答 弁 同小学校では、児童数が増加傾向にあり、さらなる教室不足が見込まれるので、今後、必要な教室数を確保し、子供たちの学習環境を整える。

また、学校用地は、国の運動場設置基準に基づき、今後の児童数の推移を見きわめながら適切に対応する。【他の質問▼バス運行社会実験・水道事業広域化など】

緊急通報装置貸与事業のシステム統一とサービス内容の見直しを
田井久留美議員(公明党)

質問 ひとり暮らしの高齢者が急病等のときに通報できる緊急通報装置貸与事業は、合併により市内でサービス内容が異なるが、高齢者が安心して住める市となるため、同事業のシステム統一とサービス内容の見直しを行う考えは。

答 弁 サービス内容の見直しも含めたシステムの統一について、他市の運用状況も調査しながら、ひとり暮らし高齢者に、より効果的なものとなるよう具体的に検討する。

【他の質問▼学校トイレの環境向上と機能改善など】



市独自の企業誘致優遇制度
神内茂樹議員(同志会)

質問 本市では、平成21年に地域経済の発展や雇用機会の拡大を図るため企業誘致条例を制定しているが、市独自の企業誘致優遇制度は。



答 弁 同条例での助成は、工場等だけでなく、観光施設等の知的創造サービス業も対象とし、独自性を有している。

今後とも、同制度を積極的にPRするとともに、県等と連携を図りながら、雇用の創出や地域経済の活性化につながるよう企業誘致に取り組む。

【他の質問▼公共用地の取得・競輪事業など】

市有林でマツタケ林再生を
佐藤好邦議員(同志会)

質問 塩江町では、ふるさとの山をマツタケの宝庫にしようと、マツタケの再生に取り組んでいるが、松林が残る市有林でも、マツタケ林再生に取り組む考えは。

【答弁】 地場産業の販路拡大や後継者育成のための施策を積極的に推進し、



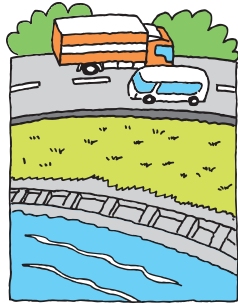
【質問】 ネットワーとなり、伝統工芸などの各種工芸と地場産業とのマッチングなどを図ることで、新しい製品を生み出す地場産業イノベーションによる地域ブランドづくりをする考えは。

【質問】 本市がコーディネートする地域ブランドづくりによる地域ブランドづくりを



【答弁】 マツタケ林再生に、適地の選定とともに、技術や経験が求められることから、今後、地域コミュニティなどに、マツタケ林再生に向けた市有林の利用を働きかける。
【他の質問】 離島振興法延長に対する国の動向など

【答弁】 河川管理者である県との協議が調った一部区間は、平成7年度から道路の拡幅工事を実施している。
また、残る区間も道路幅を確保する計画だが、県の河川整備との整合性を図る必要があるため、現在施工



【質問】 香東川東岸堤防橋までの区間は、道路幅が狭く危険なので拡幅し、対面交通ができる道路整備を行う考えは。

【質問】 香東川東岸堤防橋までの区間は、道路幅が狭く危険なので拡幅し、対面交通ができる道路整備を行う考えは。

【他の質問】 児童福祉施設の設備運営基準など

【他の質問】 合併特例債・教育問題など



【答弁】 同地震発生時の、域的な後方支援は、被災自治体にとって重要なので、県や同空港など関係機関と連携しながら、本市として可能な後方支援策を研究する。

【質問】 高松空港は、四国で唯一、内陸部に立地し、高速道路にも近いなど、四国はもとより、近畿圏も含めた災害時の後方支援拠点として適当なので、同空港を東南海・南海地震災害時の同拠点として国や香川県及び他県と連携する考えは。

【質問】 高松空港は、四国で唯一、内陸部に立地し、高速道路にも近いなど、四国はもとより、近畿圏も含めた災害時の後方支援拠点として適当なので、同空港を東南海・南海地震災害時の同拠点として国や香川県及び他県と連携する考えは。

【他の質問】 個人情報保護・自主防災組織など

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち21件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	同志会	市民71-7421	公明党	無所属		
					二川	香川	岡田
●市長提出議案							
平成23年度高松市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	×
平成23年度特別会計（6会計）補正予算（高松市国民健康保険事業・介護保険事業・競輪事業・中央卸売市場事業・中小企業勤労者福祉共済事業・奥の湯温泉事業）	可決	○	○	○	○	○	×
平成23年度事業会計（3会計）補正予算（高松市病院事業・水道事業・下水道事業）	可決	○	○	○	○	○	×
高松市図書館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×
高松市環境プラザ条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	×
高松市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×
高松市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×
平成22年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	×
平成22年度高松市水道事業会計決算について	認定	○	○	○	○	○	×
●陳情							
公財政支出による教育費の充実を求める意見書採択に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	○
政務調査費運用指針の見直しと議会改善検討委員会の市民への公開を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	○
障害者差別禁止条例の制定を求める陳情	不採択	×	○	×	○	×	○
障害者総合福祉法に福祉部会の提言を盛り込むことを求める陳情	不採択	×	○	×	○	×	○
国保会計へ一般会計からの繰入金を増額し、社会保障としての国民健康保険制度を守る陳情	不採択	×	×	×	×	×	○

※ 全議案等の審議結果については市議会ホームページをご覧ください。

委員会のその他活動など

●所管事務調査

	テーマ／中心市街地における駐車施設のあり方について	
建設水道	11月29日	駐車場整備の最適化を図るため、駐車場の附置義務基準の見直し、市営駐車場の経営改善への取り組みなどを要望することで意見を集約し、調査を終了しました。

●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

新病院等整備	10月27日	香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画（案）について説明を受け、協議しました。
	11月15日	新病院基本設計（案）について説明を受け、協議しました。
決算審査	10月3・4・18・20・21・25・31日	平成22年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算、病院事業会計決算、水道事業会計決算、塩江簡易水道事業会計決算について、いずれも認定することで審査を終了しました。

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	10月26日	瀬戸・高松広域定住自立圏の新たな取り組み
	11月29日	消防署所等適正配置計画素案、南部地区の核となる特色あるスポーツ施設整備
教育民生	9月30日	国民健康保険事業の運営（保険料の見直し）
経済環境	12月15日	西部クリーンセンター長寿命化計画策定
建設水道	11月17日	景観計画（案）、自転車等駐車対策総合計画（案）

議会改善検討委員会

議会情報の発信などについて協議するため、11月7日と25日に開催し、協議した結果、議案に対する賛否情報については、12月定例会分から議会の広報紙及びホームページで公表することとし、その他の情報発信手段については、今後、さらに協議・検討していくことにしました。

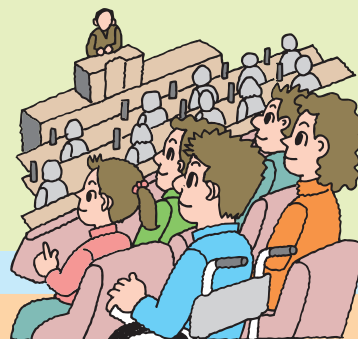
また、住民監査請求「政務調査費の一部返還を怠る事実」に関する監査委員の意見を受け、協議した結果、政務調査費の使途基準運用指針の見直しは行わないものの、各議員が、使途や金額に配慮し運用していくことにしました。

人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

●人権擁護委員候補者

岡田啓三氏 馬場彰文氏



市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。
なお、本会議や委員会の開催については、事前に市議会ホームページに掲載します。

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

●本会議の傍聴

傍聴の受付は、市役所6階東詰め傍聴席入口で行っています。
受付で、傍聴者名簿に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って入場してください。
傍聴席は60席のほか、車いす3台分のスペースもあります。

●委員会の傍聴

傍聴の受付は、開会の1時間前から15分前までの間、市議会事務局（市役所議会棟3階）で行っています。
受付で、委員会傍聴申込書に、住所・氏名・傍聴を希望する委員会を記入し、傍聴券を受け取って入室してください。
傍聴は、各委員会5名までで、先着順となっています。